

日光パークボランティアのイベント



日光パークボランティアによる、夏から秋にかけてのイベント！参加費無料、事前申込み不要、自由解散ですので、奥日光にお越しの際はぜひお気軽にご参加ください。大人も子供も楽しめます！

湯ノ湖散策（9:30～11:00）

6月2日（日）

集合場所：日光湯元レストハウス前園地

コース：湯ノ湖畔一周

自然ふれあいプログラム（13:30～15:00）

7月27日（土）8月17日（土）

集合場所：湯元キャンプ場炊事場前

活動場所：湯元キャンプ場内

活動内容：ビンゴカードを用いた自然観察

朝の散策（6:30～7:30）

集合場所：日光湯元ビジターセンター前

7月21日（日）7月28日（日）

8月4日（日）8月18日（日）

8月25日（日）

午後の散策（16:00～17:00）

集合場所：日光湯元ビジターセンター前

7月20日（土）7月27日（土）

8月3日（土）8月17日（土）

8月24日（土）

秋の散策（9:30～12:00）

集合場所：赤沼自然情報センター前

9月8日（日）

朝の散策、午後の散策では湯元地区内、湯ノ湖畔
秋の散策では戦場ヶ原（赤沼～青木橋）を歩きます。

～編集者が変わりました～

入社2年目のY・Mですよろしくお願いします。自然全般なんでも好きです。ひなびた温泉が好きです。岩場と鎖場が多い登山が好きです。日光支部には植物、哺乳類、両生類、歴史など、様々な分野に精通した変人的なスタッフが在籍しています。それぞれの分野でアツク魅力を語ってもらい、ちょっとマニアックな楓通信にしようと企んでいます。今後どうぞお楽しみに！

奥日光の自然情報誌

楓通信 No. 137

発行：自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

『楓通信』購読料について

「楓通信」133号（平成30年6月発行）より、本誌を無料とさせていただきます。133号以降の新規購読料金は2年単位（発行数8部）で1,000円（送料・手数料・税込）となります。

134号以降にお申込の方にはバックナンバーの送付にて対応させていただきます。

不明点や質問がございましたら、楓通信担当まで連絡くださいますようお願い申し上げます。TEL：0288-62-2461

2019年6月初旬発行

季刊 無料

次号2019年9月初旬 発行予定

奥日光の自然情報誌

楓通信

2019年 No.137

6-8月号

奥日光を愛する皆様に

旬な情報を伝えたい。



撮影場所：中禅寺湖北岸（6月）

今号の特集

あえてマイナーを追及しよう！足元に咲く花たち

カエル好きのスタッフが語る！奥日光の爬虫類と両生類

春の大雪

2019 年 4 月 11 日 撮影



今年の奥日光は雪が少ないと、誰もが感じながら 4 月を迎えた。金精道路の除雪車の槌音も軽やかに聞こえ、春の訪れは近いだろうと思っていた矢先の 4 月中旬、湯元では 1 日で 30 c m もの雪が積もった。

茶色の草原だった戦場ヶ原は一面に白く輝き、雪化粧をほどこした男体山がひととき優雅に佇んでいる。まさに真冬の装いだ。各地から満開の桜の便りを耳にするこの時期でも、奥日光の春はもう少し先のようだ。この季節ならではの日々の移ろいを感じていきたい。(T.Y)

日光の気象

文♦辻岡

奥日光とヨーロッパの夏

明治時代の中後期、中禅寺湖畔にはヨーロッパの国々の大使館の別荘が建てられ、夏の奥日光は外交の舞台となりました。大使館別荘が多く建てられるきっかけを作った一人に、長崎のグラバー邸でよく知られているトーマス・グラバーがいます。貿易商としてイギリスから長崎に渡ってきたグラバーは、後に武器商人としても活躍し、倒幕にも関わった人ですが、晩年は日光で釣りに凝ったようです。夏の奥日光の気象は彼の故郷であるスコットランドに似て冷涼で、ゆったりと流れる湯川やブナやオーク（ミズナラに近縁）の森の佇まいも彼にとってはスコットランドを彷彿とさせるものであったのでしょうか。彼は、中禅寺湖畔に別荘（西六番別荘：後の東京アングリング・エンド・カンツリークラブのクラブハウス）を建て、湯川にカワマスを放流しました。

グラフは、東京、奥日光、軽井沢と奥日光に大使館別荘を建てたイギリス、イタリア、フランス、ベルギーのそれぞれの首都の 8 月の平均気温、最高・最低気温をグラフにしたものです。スコットランドのエディンバラも加えました。これを見ると、東京の 8 月の平均気温は 26.4℃、平均最高気温は 30.8℃、平均最低気温は 23.0℃であるのに対し、ヨーロッパの各都市は、ローマの 29.8℃を除いて最高気温は夏日の 25℃にも届いていません。特に最低気温は 20℃を大きく下回り、最高気温が東京なみに高いローマでも 19.4℃と大変に涼しくなっています。

熱帯夜などとは無縁の気候です。グラバーの故郷であるスコットランドのエディンバラを見ると、平均気温は 14.4℃（データがないので最高最低の平均値としています）と、とても夏の気候とは思えないほどの低温です。

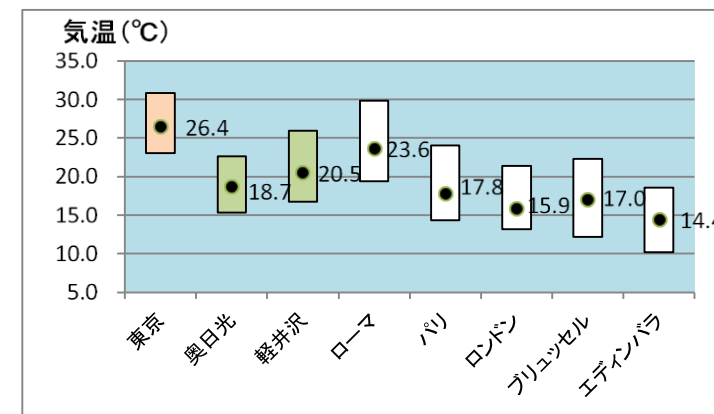
そして奥日光はというと、月平均気温が 18.7℃、最高気温が 22.6℃、最低気温が 15.3℃と、ヨーロッパの各都市と同等の気温となっています。東京の夏の蒸し暑さに辟易していたヨーロッパの外交官たちは、奥日光に故郷の涼しい夏を見つけたのでしょうか。奥日光と同様に避暑地として発展してきた軽井沢の気温はどうでしょうか。8 月の平均気温が 20.5℃、最高気温が 25.9℃、最低気温が 16.7℃となっており、奥日光（1292m）と比べて軽井沢（999m）は標高が低い分、気温は高くなっています。ローマよりは低いですが、他の都市と比べると若干高くなっています。

大使館別荘の建設が軽井沢ではなく奥日光に進んだのは、気温だけではなく、雄大な自然景観が奥日光には残されており、イギリス外交官であったアーネスト・サトウが旅行記や英字新聞など様々な媒体で紹介、称賛し、外交官の間で広く知られたことなども大きな理由でしょう。その後、軽井沢では荒地への植林による景観の創出、別荘地開発の大衆化が進み、今では軽井沢銀座などの賑わいを見せていますが、奥日光はグラバーやサトウの時代と変わらない大自然が悠久の時を刻んでいます。

本誌にて長きにわたり連載されてきたこのコーナーですが、執筆者である辻岡が 2019 年 5 月 6 日に逝去いたしました。誠に残念ながら、今回を「日光の気象」最終回とさせていただきます。今回を含め、全 42 回の連載となりました。

辻岡の著書に「日光の気象と自然（随想舎）」がございます。この連載の内容に加筆したもので、辻岡が読者の皆様にお伝えしたかったすべての内容が書かれています。この連載を機に日光の気象に興味を持たれた方は、ぜひそちらをご覧ください。

これまでご愛読いただき、誠にありがとうございました。



グラフ-1 東京、奥日光とヨーロッパ各都市の 8 月の気温
(帯の上端は最高気温、下端は最低気温、●数字は月平均気温)

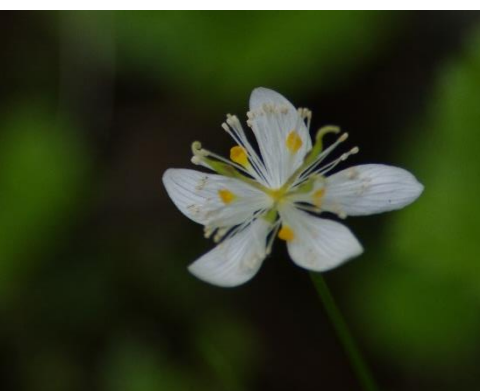
あえてマイナーを追及しよう！

小さくも個性豊かな 足元に咲く花たち

ズミ、ホザキシモツケ、クリンソウ・・・奥日光を代表する花々が咲き乱れる時期ですが・・・もっと足元を見てください！他にも、個性豊かな花がたくさんあるんです！今回は、普段あまり注目されない、だけどぜひ探してほしい花たちを、小さな植物が大好きな楓通信前編集長 T・K に紹介してもらいましょう。

カリガネソウ（8月～9月）

優雅な姿と裏腹に強烈な匂いを放つ。
植物の生きるための工夫に驚かされる。



ミツバオウレン（6月～7月）

初夏、高山帯のひんやりとした木陰でひっそりと可憐に咲く。木漏れ日がスポットライトように指した瞬間、サッと輝く姿がとてもキレイ。



イワカガミ（6月～7月）

6～7月太郎山や白根山などの高山で見られる。急な山道を頑張って登りきったところで、鮮やかなこの花が出迎えてくれる。



イブキトラノオ（6月～8月）

白くふさふさした可愛らしい見た目だが、この花も強烈な匂いがする。それでも、蝶たちには魅力的な花のようだ。



ツマトリソウ

マイヅルソウ（5月～7月）

夏の濃い緑をバックにした白く小さな花々は、まるで森の妖精のようで可愛らしい。



ハクサンフウロ（6月～8月）

夏の終盤、湿原に彩を与えてくれる。そして、この花にとまりに来る蝶もまた美しい。



タマガワホトトギス(7月～8月)

ユリ科らしい不思議な形に惹かれてしまう。じっくり観察したくなる独特な魅力が堪らない。湯川沿いに多い。

カエル好きのスタッフ（S・M）が愛を語る！

奥日光の主な爬虫類と両生類



モリアオガエル（撮影：岩手）

アマガエルのような緑色で、アマガエルよりも二回りも三回りも大きなカエルです。茶色っぽい斑点がある個体もいます。木に綿菓子を作る犯人（犯蛙）です。

※資料の都合上、他県撮影の写真も含まれます。



ヤマアカガエル（撮影：長野）

まだ肌寒い春先に、寒さに負けずに頑張って冬眠から目覚めて産卵をする、茶色い地味なカエルです。で、産卵が終わったらまた寝ちゃいます。



ヤマアカガエル幼体（撮影：日光）

もう少しで完全に上陸します。尻尾が消え、エラ呼吸から肺呼吸へ、そして食事でも植物から昆虫へ。ものすごい変化がその小さな体の中で起こっています！



モリアオガエルの卵（撮影：日光）

池の上に綿菓子のなる木……ではなく、その綿菓子、実はカエルの卵なのです。表面は乾燥しても中は湿っていて、卵はオタマジャクシに育っていきます。



アオダイショウ（撮影：日光）

少し青みがかった茶色い色で、大きく長く太い体。大将と呼ぶに相応しいヘビです。多少荒っぽいですが、その顔立ちはどこことなく愛嬌があります。



ジムグリ（撮影：長野）

赤みがかった茶色に、黒い斑点があったりなかったりします。隠れていてあまり見かけることがないレアなヘビでもあります。出会えたらラッキー！



ヤマカガシ（撮影：日光）

黒地に緑やオレンジ、黄色とお洒落。しかし！綺麗なバラにはトゲがあるので、うっかり手を出さないように。

上皇陛下の愛した奥日光を歩く

陛下が実際に歩いた道をたどる

健脚者向け

7/7(Sun)

9:00-15:00

奥日光の歴史に詳しいスタッフが、陛下と奥日光の関係について解説しながら、皆様をご案内します。

ルート：湯元→切込湖刈込湖→光徳無料駐車場（光徳駐車場で解散）

申込み・先着順
受付開始 08：30

対象：現地に集合できる中学生以上かつ**健脚の方**
（15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要）
集合場所：日光湯元ビジターセンター
参加費：3,000円 定員：10名 要事前申込



※標高差約300mの起伏のあるコースです。
体力、脚力に自信のある方のご参加を推奨します。

カッコイイを極める登山 社山

～山頂でコーヒーを嗜むオレ（私）～

健脚者向け

7/21(Sun)

9:15-16:15

山頂でスタッフがコーヒーを淹れます。渋さ、カッコ良さが詰まった登山です。山頂からの展望も最高ですよ！
ルート：歌ヶ浜第一駐車場→阿世瀉→社山山頂（往復）

申込み・先着順
受付開始 08：45

対象：現地に集合できる18歳以上かつ**健脚の方**
（15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要）
集合場所：歌ヶ浜第一駐車場（中禅寺立木観音前）
参加費：4,000円（山頂でのコーヒー、お茶菓子代含む）
定員：10名 要事前申込



西ノ湖の源流をたどる カクレ滝

知る人ぞ知る神秘の滝へ！

8/25(Sun)

9:30-15:30

ブルーに輝く水面にうっとり…。奥日光の滝は華厳や竜頭だけじゃない！

※特別許可を得て開催

ルート：西ノ湖バス停→西ノ湖→カクレ滝→千手の森→千手ヶ浜バス停

申込み・先着順
受付開始 09：00

対象：現地に集合できる中学生以上の方
（15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要）
集合場所：西ノ湖入り口バス停（低公害バスをご利用ください。）
参加費：3,000円 定員：10名 要事前申込



苔の回廊 幽谷御沢金剛峯

～幻想的な雰囲気になまぐさ～

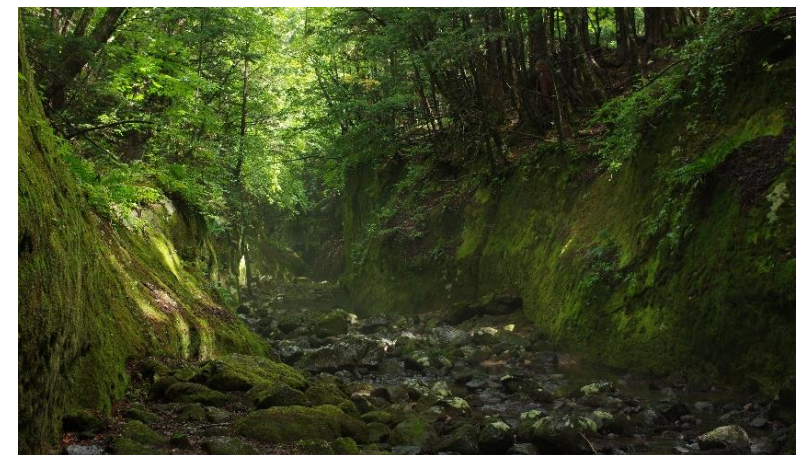
9/21(Sat)

10:00-15:00

今年こそは晴れてくれ…。大人気のコースなので、まだ行った事のない方はお早めに！※特別許可を得て開催
ルート：光徳無料駐車場→金剛峯→裏男体林道→駐車場

申込み・先着順
受付開始 09：30

対象：現地に集合できる18歳以上の方
（15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要）
集合場所：光徳無料駐車場
参加費：3,000円 定員：15名 要事前申込



自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

FAX：0288-62-2378

お申込み先

お申込の際、平成29、30年実施イベントの参加の有無、氏名・年齢、郵便番号・住所・電話及び当日連絡先、交通手段をお知らせください。（日程や内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください）